

節電目標 対前年度比▲15%

節電実績

5つの基本アクションをお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・蛍光灯の間引き、一部消灯等必要最低限の照明確保に努める。	1%	●
空調	・冷房の設定温度を28度とする。	4%	●
	・原則として19時以降は冷房を停止する。	1%	●
	・稼働初期の時間をピーク時間帯以前にし、定常運転による抑制。	1%	●
OA機器	・冷蔵庫を省エネタイプに変更。	5%	●
	・コーヒーメーカー等の原則使用禁止。	1%	●
その他	・超過勤務の徹底的な削減。	1%	●
	・会議資料等配布部数の適切な管理によるプリント枚数の削減。	1%	●
さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください			
空調	・室内のCO ₂ 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する（外気導入による負荷を減らすため）。	- %	
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	- %	
	・冷凍機の冷水出口温度を高め設定し、ターボ冷凍機、ヒートポンプ等の動力を削減する（セントラル式空調の場合）。	- %	
メンテナンスや日々の節電努力もお願いします			
照明	・昼休みなどは完全消灯を心掛ける。		
	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		
空調	・フィルターを定期的に清掃する（2週間に一度程度が目安）。		●
	・電気室、サーバー室の空調設定温度が低すぎないかを確認し、見直す。		●
	・室外機周辺の障害物を取り除くとともに、直射日光を避ける。		
	・電気以外の方式（ガス方式等）の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。		
	・朝の涼しい時間帯から設備を起動したり、分散起動すること(複数台数の場合)により、立上げによるピーク電力上昇を抑制する。		
コンセント動力	・エレベーターやエスカレーターの稼働を半減または停止する。		
	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		
その他	・自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長等を行う。		
	・デマンド監視装置を導入し、設定を契約電力のΔ15%とし、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。		
	・コージェネレーション設備を所有している場合は、発電優先で運転する。		
従業員やテナントへの節電の啓発も重要です			
節電啓発	・ビル全体の節電目標と具体的なアクションについて、関係全部門・テナントへ理解と協力を求める。		
	・節電担当者を決め、責任者（ビルオーナー・部門長）と関係全部門・テナントが出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。		
	・従業員の夏期の休業・休暇の分散化・長期化を促す。		
	・従業員やテナントに対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		

※ご注意

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。